



チームびゅう (成田直子×成田貴亨)
MIKANOHARA ALBUM
写真



地域での入念な聞き取りにより集められたファミリーアルバムの写真と、それにまつわるエピソードによって作品を構成。“小さな歴史”を掘り起こし、光を与えた。

深尾尚子
さるあそび
立体造形・インスタレーション



サル型ビスケットをイメージした作品。「かわいい」や「おいしそう」という思いと同時に、野生動物と人間との理想的な関係について考えるきっかけを提供した。

志村陽子

移ろいゆく時の中で
インスタレーション



| シムラ草—ふたたび—

湧水の伝承から発想を得た茶壺から和紙の森と庭が広がり、瓶原に住む人々の数だけ紅白の花を咲かせている。手漉きの和紙には、瓶原地区で栽培されたお茶の葉が混ぜられた。

○△□(佐藤隼・新開日向子)

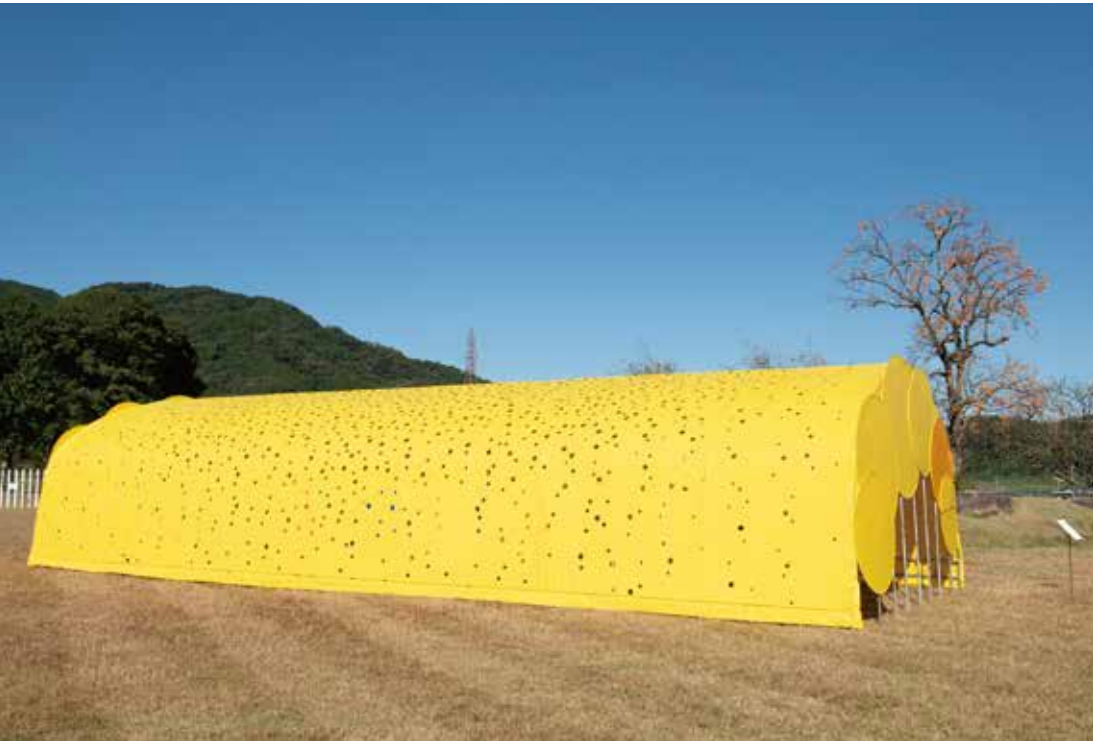
○△□の光
インスタレーション



海のない地域に、周囲を少しだけ照らす灯台、周辺の子どもたちが撮影した映像をもとに作成されたLEDディスプレイの光、初日のお焚き上げによる光の3部構成による作品。

西村正徳 (招待作家)

陽だまりハウス
インスタレーション



黄色いビニールハウス。晴れた日、無数に空いた穴から降り注ぐ自然の光を受け光と戯れる。
光が持つ優しさや美しさを全身で感じながら自然と共生することの大切さを知る。

協賛：帝人フロンティア(株)、(株)大京テント工業

中島和俊
(招待作家)

白の回廊
鉄の彫刻



恭仁宮にあったとされる回廊を想起させる鉄のトンネル。疫病に悩まされたいにしへの時代と、混沌とする現在の社会状況を重ね合わせた作品。

中村岳

遡及空間(そきゅうくうかん)

インスタレーション



大極殿を偲んで朱に彩色した木材は、地元の人々と収集した。自らを絵描きとして、現場に立って頭の中に浮かぶものを形にしていく。そのプロセスは絵画そのものである。

伊吹拓

色の襲(かさね)

絵画



色の襲(かさね)ほか 映像作品

BACK YARD -過去の囲い地-

Tシャツにとまるアゲハ蝶^{はね}の翅の色、傾いた陽が照らす田んぼの彼岸花、スコールの後の蒸した雲の切れ間。昨夏に地元を歩いて目にした様々な景色を、対になる色で表した。

画材提供：ホルベイン画材(株) 映像撮影・編集協力：Sugahara kouji

設営協力：(株)POS建築観察設計研究所

園川絢也(招待作家)

“命”ウゴメク ウゴメキ 恭仁神社から始まる物語
インスタレーション



人と人の繋がり、折りの形、未来への光、命の芽吹き。溢れるエネルギーと、木津川アート2010に参加して感じた「社会とアートが交わり拓がる可能性」を作品に込めた。

Ms&Mr シュウ

増殖—結界を超えて
インスタレーション



参道に映える赤いモチーフは、矛・盾・磐。複雑に交錯するひもや毛糸は、現代人の悩める人間関係を表す。鳥居が隔てる結界を越えるとき、どんな風景が見えただろうか。

XIAO Li(シャオリー)

田んぼ山水
ランド・アート



田んぼに絵を描くように、土を耕し、山をつくり、稲を植えた。命を宿す大地は、季節と共にその景色を刻々と変化させる。多くのボランティアの協力の下、半年を経て作品は醸成された。

XIAO Li(シャオリー)

A Line in Kizugawa
ランド・アート



鍬をあげて、地球の皮膚 大地に痕跡を。木津川が運んだ河原の地に、一本の線を描くように。それは、絶えることのない川の流れ、時の流れのなかで、自分が存在することの証。

内藤伸彦

ひびあかり

土と光による造形・インスタレーション

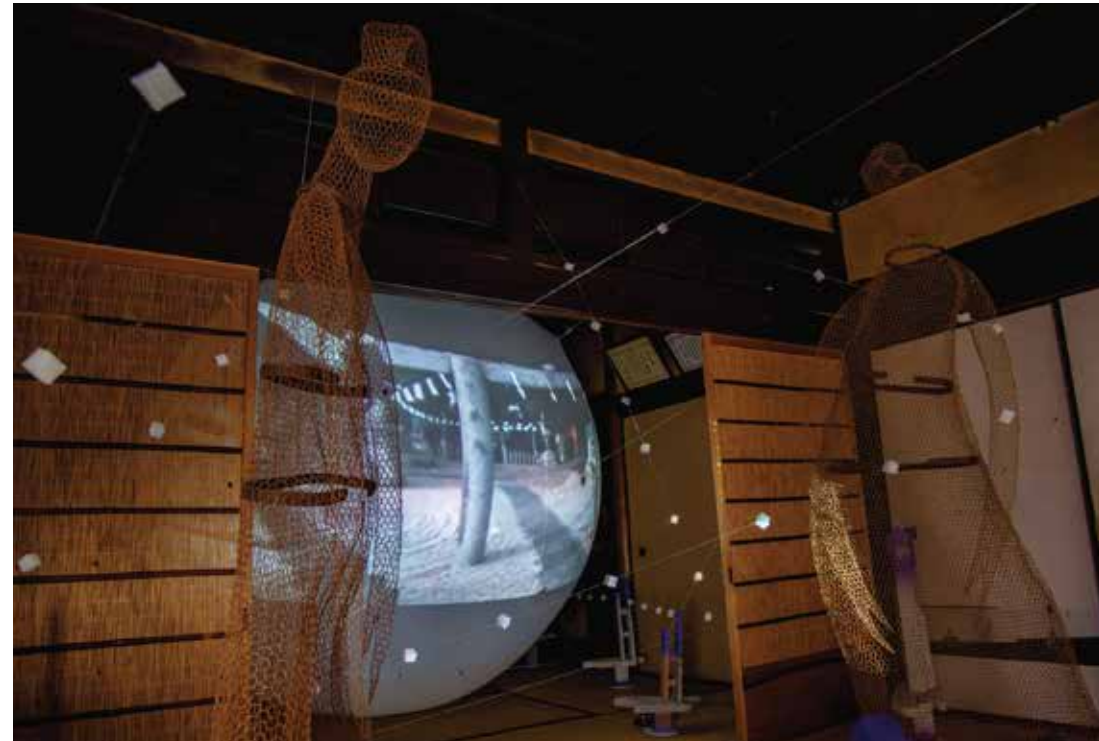


泥状の土が乾く過程で、偶然のように走るひび。そこに染み入った蜜蝋から、光がもれる。くもの巣、伸びた笹、籠の埃…暗闇の中にやがて見えてくる、蔵の時を刻むもの。

Ms&Mr シュウ

増殖—命の交差

インスタレーション



江戸時代からここに暮らす人々を見守ってきた母屋。畳の上に座り、時とともに醸し出す場面に想いを重ねる。交錯する時と空間、そして命の気配を静かに感じる。

浅山美由紀

愛おしいものたち | 瓶原の家

インスタレーション



30年の時を経た未完の家。そこで始まるはずだった何気ない日常。作家は家中の障子に線香の火で穴をあけた。その障子の穴越しの陽光の変化、外界の景色や気配。移ろう時間。それらは日常の大切な愛おしいものたちだ。



川中政宏

待合所

インスタレーション



かつては子供達の登下校時に使われていた、待ち人の居ない待合所。そこに残された机や植物を核に…結晶が光る。その形や輝きは、流れる時間やその記憶を映し出す。



Chakky Kato

生成彫刻 ～ Generated Sculpture ～ [彫刻+AR]
サイトスペシフィック・アート



モノや記憶、情報が溢れ出た現代社会を付喪神の世界で表現。土の彫刻の顔にスマートフォンカメラをかざすことで、ARフィルターのオブジェクトと融合し、彫刻が完成する。

岡村由季奈

ギャルる
陶芸によるインスタレーション



20世紀末に突然出現した「ガングロギャル」を陶芸作品に落とし込んだ。ギャルは世の中の普通を気にせず、着飾り武装することで自身のカワイイを追求した。ギャル文化と陶芸表現とのコラボ作品。



「あいさま」は岐阜県東濃地方の方言で、間のこと。曖昧さこそが「間」の本質に近いと感じる。木津川、あるいは作家の日常である大垣の「あいさま」を一続きの風景として結ぶことで、更に曖昧さを増した日常はどのような表現へと変化するのだろうか？



木津川アートが始まった2010年から撮り始めた木津川市の風景。今その場所に立ち戻り再びカメラに収める。10年以上も経過すると変貌してしまった風景と今も変わらず存在する美しい風景があった。どちらの風景も何らかの「気付き」がある。

城戸みゆき

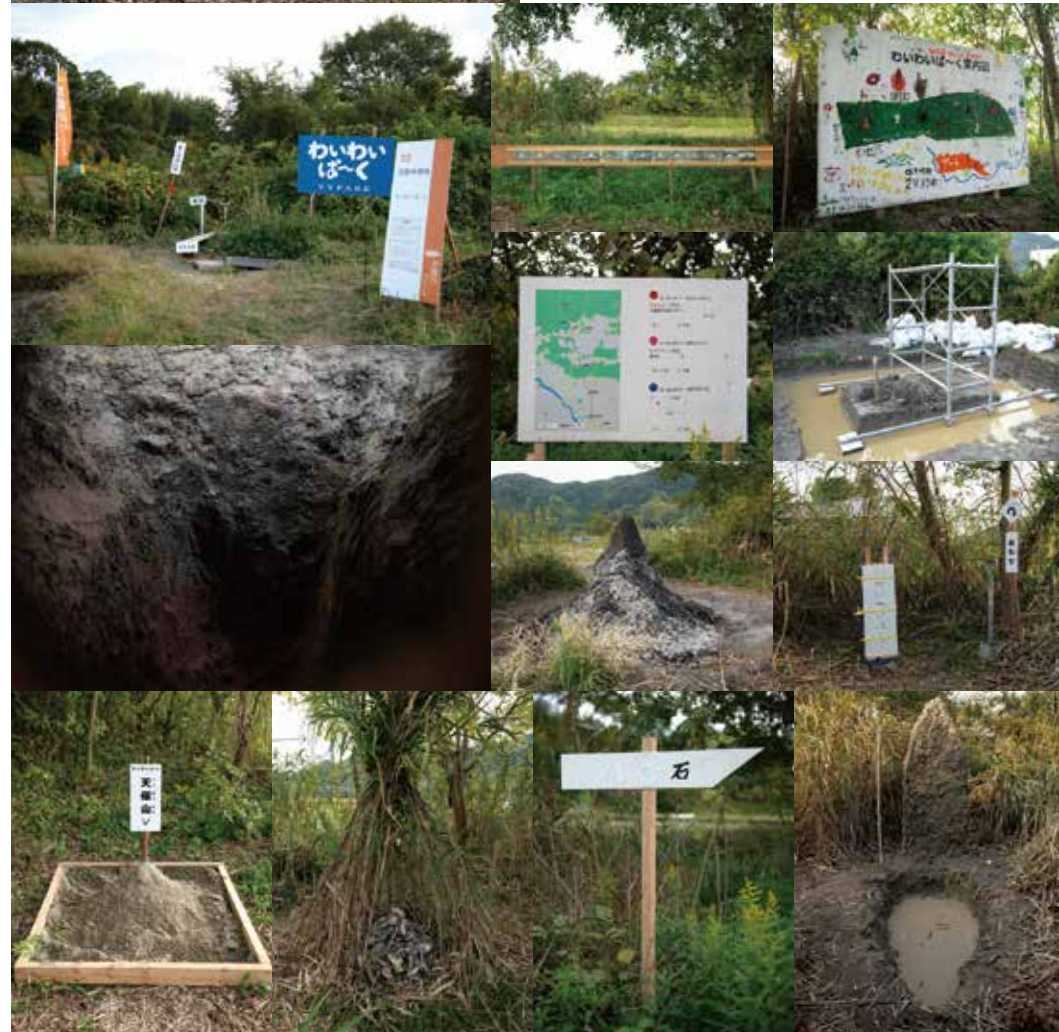
かすかに、おぼろに
インスタレーション



かつてこの土地に現れ短い間で消えていった都のように、人の記憶の中の宮殿はかすかな光で一瞬の煌めきを見せてまた深く沈んでいく。どこからかやってきて通り過ぎていくもの、儚く消えた浮かび上がってくる幻のような記憶のかげらのような風景が立ち上がる。



わいわいば〜く
砂場の埋まっている田んぼ
そこ、溝あんで



休耕地をこどもの遊び場である「砂場」に例えて、土や地層、位置、地形などから連想される造形が敷地内に展示された。

Kyuichi Sato

Hito_ita-k 020 AIP. (KAWARAZA021)

彫刻・インスタレーション



2021年10月、木津川の河原で早朝から日没まで何日間も過ごした。そこで自分に語りかけてくる小さな宝石たちを拾い集めた。木津川の河原で生まれた宝石たちは場所を変えてもキラキラと私たちに語りかけてきた。



キテラス河原えびす店(糸田泰明×松尾謙)

神奈備の森

インスタレーション

えびす神社の森は、鳥たちの囀りが響き渡り、木々の間を風が通り抜けていく。木洩れ陽が当たるその先には、力強くも優しく凛とした龍神の姿が。その龍神の、この地、この森の鼓動を感じながらそっと彼女の言葉に耳を傾けると、神奈備の森の真実に辿りつく。

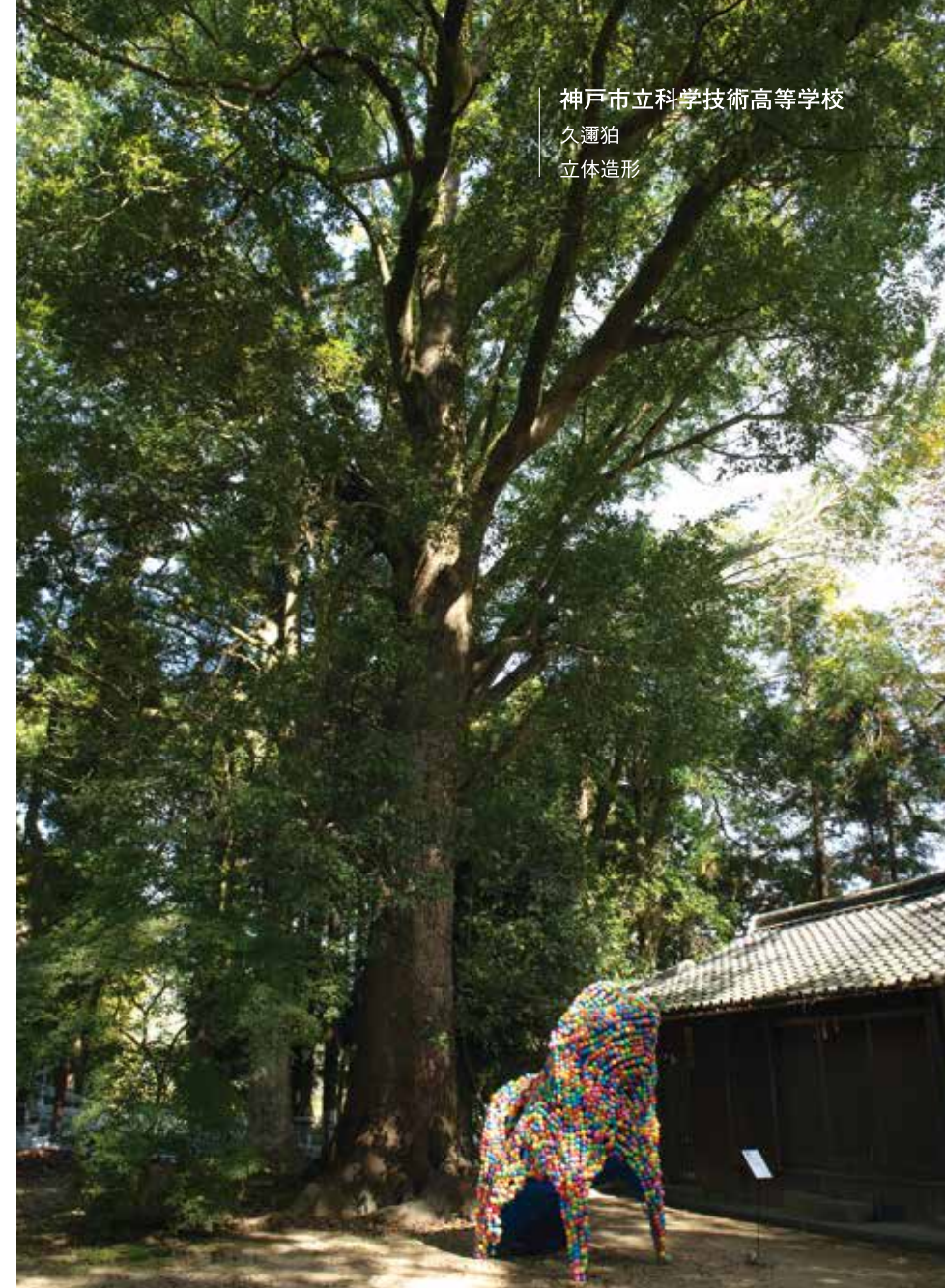
Naoko Kamimura Omae

やおよろずへのいのり

舞台装飾



自然との共存共栄 生命の循環を想い ぐるりと山に囲まれた 豊かな国を憂い
今一度 原点回帰 神々の降りたつ舞台に 祈りを捧げる
藍色に染められた麻にその想いを込める。



神戸市立科学技術高等学校

久邇狛

立体造形

ヒルコが葦船で川に流されたとする古事記の伝承から「水沫」を連想する球体で覆われた狛犬を制作した。たとえ洪水が襲おうと、水流に浮きながら「えびす神」として何処かに漂着してくれるに違いない。

島本彩

複製と落ち葉

銅版画

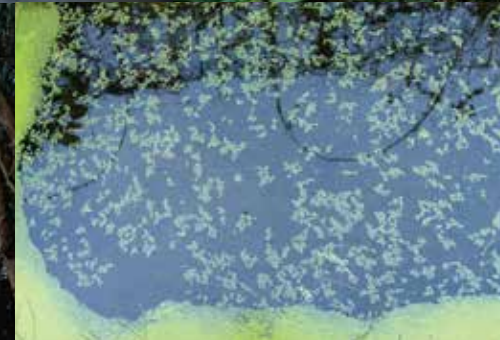


一本の木から葉が生まれ落ちていく様は、一つの版から何枚も作品を生み出す版画と似ている。そしてそれらは似ていても一枚一枚に小さな個性があり、同じものはない。河原恵美須神社のイチヨウの古木の一枚の葉を元に一枚の銅板で作り続けた。この作品は落ち葉であり、このイチヨウの古木のそばで落ち着つけたことを光榮に思う。

橋本次郎

仏生寺 - 口畑

サウンドスケープ・ランドスケープ



一枚の地図をもとに瓶原をめぐり、その土地の文化や風土を感じながら、参加者がそれぞれの物語を想像していくプロジェクト。そこで感じた時間が作品として記憶される。

襟草丁

ミクマリ

インスタレーション



都を横断する大河は銀河のメタファー。川の流動性は交易や交流、文化や技術の伝播に大きく関わり、同時にえにしのような連鎖を生み、境なく混ざり合って循環している。

奥中章人

INTER-WORLD/SPHERE: Cocooner

光と空気のやわらかい彫刻



光を映す薄いフィルムで作られた巨大な風船を市役所ロビー上部に設置。軽い圧迫感と浮遊感が入り混じった感覚と、目には見えない空気存在を連想できる作品であった。

協力企業：ホログラムサプライ株式会社、あおいおあ

協力者：@akira_you、あお、石上 恵子、今津 裕幸、遠藤 慎二、船越 鈴賀、船越 光葵、西田 友美、山本 瑞穂



1



2



3



4



5

1 | 成田直子 2 | 成田貴亨 3 | 内藤伸彦 4.5 | Ms&Mr シュウ



6



7



8



9



10



11

6.7 | 大場典子 8 | 櫻井恵子 9 | 長谷川政弘 10 | 林真衣 11 | 岡村由季奈



1.2.3.4 | ホウジョウズ 5 | 上田 普 6 | 加藤 史江 7 | Kyuichi Sato



8 | 北濱 雅佳子 9 | 松尾 謙 10 | 林 直 11 | 白神 タカラ 12 | 浅野 言朗